

## 『田中絹代(再)発見（第2部：女優編）』映画上映会のご案内



国際交流基金、ブエノスアイレス劇場複合施設（CTBA）、アルゼンチン映画財団及び当館の共催により、「田中絹代(再)発見（第2部：女優編）」を11月17日（木）～29日（火）まで、サンマルティン劇場レオポルド・ルゴネスサロンにて開催いたします。

田中絹代の監督作品を集めた前回の「第1部」に続き、今回の「第2部」では、田中絹代が日本を代表する7人の監督のもとで演じた作品の特集上映会となります。これらが作られた年代は、映画制作そのものが大きな変貌を遂げた時代でした。彼女が生きた時代は、戦争によって日本が激動の道を歩んだ時期でもあり、本上映会では、1941年制作の初期トーキー映画から、1970年代の作品と多岐にわたり、スタイルの異なる7人の個性豊かな監督がそれぞれの視点から捉えた、移り行く日本の時代の流れが鮮明に描かれています。是非、この機会をお見逃しなく。

**会場** サンマルティン劇場 10階レオポルド・ルゴネス・サロン（Av. Corrientes 1530、CABA）

**期間** 2022年11月17日（木）～29日（火） ◆20日（日）、21日（月）、28日（月）は上映なし

**入場料** 450ペソ（一般）、250ペソ（学生及び定年退職者）

**劇場公式HP** [https://complejoteatral.gob.ar/ver/\(Re\)Descubrir-a-Kinuyo-Tanaka-Parte-2](https://complejoteatral.gob.ar/ver/(Re)Descubrir-a-Kinuyo-Tanaka-Parte-2)

### 日 程

● 11月17日（木） お か あ さ ん（開始時間 / 15:00、18:00）

（1952年、98分、35mm / 監督：成瀬巳喜男、主演：田中絹代、香川京子）

戦後、クリーニング店を再開した福原家。しかし、長男と夫を相次いで亡くしてしまい、母は女手ひとつで店を切り盛りすることになってしまった。数ある成瀬作品の中でも、初めて海外で高い評価を受けたとされる一本。

● 18日（金） 樽 山 節 考（開始時間 / 15:00、18:00）

（1958年、98分、35mm / 監督：木下恵介、主演：田中絹代、高橋貞二）

深沢七郎の同名小説を木下恵介が脚色・監督した作品。1983年には今村正平監督により同作のリメイクが発表された。1958年にヴェネツィア国際映画祭コンペティション部門に出品。

● 19日（土） 西 鶴 一 代 女（開始時間 / 14:00、17:30）

（1952年、148分、DCP / 監督：溝口健二、主演：田中絹代、三船敏郎）

Centro Cultural e Informativo de la Embajada del Japón、Bouchard 547 15-piso、CABA、  
TEL.4318-8240 Mail: <mailto:centro-info@bn.mofa.go.jp> / <https://www.facebook.com/Emb.jp.ar>

井原西鶴の「好色一代女」を溝口健二が監督した作品。ヴェネツィア国際映画祭で国際賞を受賞。

■ 20日(日)及び21日(月)は上映なし

● 22日(火) サンダカン八番娼館・望郷 (開始時間 / 15:00、21:00)

(1974年、121分、16mm / 監督：熊井 啓、主演：田中絹代、栗原小巻)

南方の島へ「からゆきさん」として出稼ぎに渡った日本人女性たちの、辛く波乱に満ちた実態を描いた山崎朋子の原作を熊井啓監督が映画化。第25回ベルリン国際映画祭で田中絹代が本作で女優賞を受賞。

● 23日(水) 煙突の見える場所 (開始時間 / 15:00、21:00)

(1953年、108分、35mm / 監督：五所平之助、主演：田中絹代、上原謙)

椎名麟三の小説(「無邪気な人々」)が原作。当時を代表する2人の女優、田中絹代と高峰秀子が共演したことで話題になる。ベルリン国際映画祭国際平和賞受賞。

● 24日(木) サンダカン八番娼館・望郷 (開始時間 / 15:00)

(1974年、121分、16mm / 監督：熊井 啓、主演：田中絹代、栗原小巻)

おかあさん (開始時間 / 21:00)

(1952年、98分、35mm / 監督：成瀬巳喜男、主演：田中絹代、香川京子)

● 25日(金) 煙突の見える場所 (開始時間 / 15:00)

(1953年、108分、35mm / 監督：五所平之助、主演：田中絹代、上原謙)

檜山節考 (開始時間 / 21:00)

(1958年、98分、35mm / 監督：木下恵介、主演：田中絹代、高橋貞二)

● 26日(土) 西鶴一代女 (開始時間 / 20:30)

(1952年、148分、DCP / 監督：溝口健二、主演：田中絹代、三船敏郎)

● 27日(日) 風の中の牝鷄 (開始時間 / 15:00、18:00、21:00)

(1948年、84分、16mm / 監督：小津安二郎、主演：田中絹代、佐野周二)

小津安二郎監督の終戦後第2作。太平洋戦争後の東京を舞台に、夫の復員を待つ妻が生活に困窮し、子供が病気をしたことで、金のために一度だけ過ちを犯したことから、戻ってきた夫のみならず、妻自身も苦しむ物語。

■ 28日(月)は上映なし

● 29日(火) かんざし (開始時間 / 15:00、18:00、21:00)

(1941年、75分、16mm / 監督：清水 宏、主演：田中絹代、川崎弘子)

井伏鱒二が週刊誌に発表した「四つの湯槽」を、清水宏監督が脚色したユーモラスな一編。無声映画が主流だった当時、まだ珍しいトーキー作品として封切される。田中絹代と笠智衆が共演した作品としても知られている。

